六日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座仙台一〇八五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行兼編輯兼印刷人 岡田弘成

愚人愚行

建部楷義

た[illegible]ざな言ノまで あ。[illegible]此處數年來術を[illegible] いて、人間顔の多 のだ。でた〳〵に疲 まん[illegible]うな氣持にな 何處か靜かな處へでも行 しまた[illegible]つもふ のである。勿論そんな事が 出來る筈もではなし 出來たとしてところが其 の時になれば又シャごみす る[illegible]なるだら事は分 り切つ居るのだが、それ を承知で、それを土台にし た上で[illegible]り愚て居るに過 な のであるから 大へ んせ たくな氣持で恐く の氣持つだで話など はちごくに落ち に充分に 有資格者だら、と思つて居 るそんな氣持でも、時 はんの形ばかり れを實行 移す事がある。

去年の二月終りに、私は 三時間ばかり郊外散歩を 、豪德寺 帶を歩 て 梅ケ丘へ抜け だ なので あるが 街中ではさほど風 もなく のどかな日和だつ の 畑道へ出るときすが に風が強く。目を開けられ ぬ程ひであつた。 中を 豪德寺の驛から豪德寺へ、 井伊大老の墓を 、いら 眺め―御どまあきざな！ 世田ヶ谷城址へ行つて ― 一丈の高さで堀のあとをお ばしき窪地を跳め 獨り 感慨にふけり―ヤレヤレ御 苦勞樣―空ッ風吹か し 目をこすりなが 畑道 を歩きまわつて居 に 一時間も ぬに忽ちのど はからわき 口の中はヂャリ〳〵 になつ はら〳〵の態 逃歸つ のである。 何 のどがかわいてま ので 取敢へずビヤホール でビールを一杯 り そ 散歩をつまらぬなど越つ ら 電車賃が惜しくなる のだから。ビールの醉を借りで無理におもしろかつた と愚ひ込まうとし、それで も酔つて來るうちにはほんと に面白かつたやうな錯覺を 起し ともかく滿足したの である。

そんな事があつたにもか わらず私はまだ[illegible]し うとりもない、東京はいだ 東京は人間が多過ぎる など 人備そうこ慣[illegible] もして居るのである。

2月7日

▽張滿洲國總理、協和會長の資格を以つて內蒙華援助の意向を發明（昭和十一）▽蔣介石南京脱出（昭和十二）

○必要は方法を教ふ

獨逸俚諺

不二ケ嶺

仁科繁勇丸

○雲海をはなる朝日おろがむと拍手うてば徹る
[illegible]の音
○不二ヶ嶺頂近く見下せば大雲の影樹海を渡る
○麓なる町の灯の明滅が燈籠流しの樣か搖れ
○汗あへつつ上りし山々も大地の襞と脚下に
ありぬ
○車窓よりかへりみすれば不二ヶ嶺は雲の上なる
山てありき
○汗あへて上り來れるみ山路にて大氣の冷れ衣
重ねる

連載講談

異說赤穗浪士

（講談赤穗義士『赤穗誠忠譚』）

桃川若燕

畫 磐城 本齋

〔74〕

下僕の訪れ

『喧し奴だな、金なばそれを持つて遣つ 遣はすぞ』

『追つてなど困ります、さと仰つて頂 ませんと――』

『目を定めろ。三年經つら拂つてる』

『戲れ巫山戯ちや可ませ、旦那樣がお拂ひャいませんば萬事武林樣がお受 と聞い居ります かれか 鐵砲 參りま――！』

『コレ〳〵馬鹿な事を云ふな ウー仕方がない、日拂つてるか 升持』

酒 番頭も仕方がな 一升德利を持つ 來る

『ウムよ〳〵』

とニコ〳〵もでチビリ〳〵やつてたか間もな 衛金算段に出掛 のが相 國 屋小路、その前の小 者は江戸 番の盛り場だ。茲へ來ると鶉の 鷹の音で 喧嘩いあるのを待つ 喧嘩が 仲へ割つて入り 仲人を買 て出て仲 りを せ、双方が納得すると仲人へ禮金を出すと云 幾何か金を取る。若し納得しない時は

『仲人の顔を潰す は怪から』

と云つて喧嘩を横取りしこれまで、赤鞘の太刀に反りを打たせ 睨みつるか 喧嘩を 力 驚 て仲直りをする、終い れが 評判 なつ 赤鞘を 帶た に安兵衛の姿を見ると喧嘩 であるといふ事を聞くのは が初め、だから安兵衛は 驚。而も萬事が頑文 身 災 禍が降つて來たといふの でこれは大變だと飛つ が 元 が無頓着 安兵衛、相變 ず金が懐にあると話 を行ん 歩いてある。

すると或る日のこと、安兵衛の― ろへ菅野から急用 手紙を持つて來たが安兵衛がゐないので。隣りの 御婆の婆さんに預 て行つた。

安兵衛歸つて來て、婆さんか そのことを聞かされ その手紙は何處 ある。

『見せろ』

『アイヨ今持 て來てある――』

同志が姿を隠して まふ 云つ按配。

或る日の暮、突然菅野六郎右衛門の若黨が何處か 聞いこか安兵衛の家を訪ねて來 手紙を置 行つた 安兵衛は歸へつて手紙を見 など 其後寺田與之助が津田の娘菊江を初め 戀慕 父與右衛門に強 て貰つて れとせがだ末戀ならざる 知つて事を構 る 至つた。又、津田の家も菊江を無理 與之助に嫁しんとした事か 菊江が違ひを覺り 自害を たと認め ある。

津田の娘が寺田與之助 嫁 と ふのは薄 知つ ゐたが異遊にその想つ 夫れを與之助と間違へたの

と傷閉の中か持つて來た手紙を讀んで見ると、文面には朝文の如く、津田、寺田 兩人が謀し合せ與 助との縁談を破談に致し且つ又娘菊江に自害を致させしは六郎右衛門の所様と逆怨 を致し、果 狀をつ られ、場所は高田の馬場 刻は四ッ刻、相手は定め 多數の者を連れ參るあ 、老の身の逆も亡き命と諦めてゐる、我亡き後は身を堅固に持つやうと記してあるから中山安兵衛

『婆アー』

『アッ――驚いた安さん、どうしたんだい』

『不埒者何故早く此 手紙を見せぬ』

『だつてお前さんが遲く歸つ 來な のぢやアないか』

『今は何刻だ』

『さうさね もう四ッだら』

『ナニッ四ッだと――ウー[illegible]は時刻 遅れたか 殘念だ』

「貯蓄は無盡で」
一歩一歩ず宝の山
社交が嶮しくならぬうち
無盡かけましょう今のうち
磐城無盡

廣告

外科 一般
內臓外科
肛門病科
泌尿生殖器科（婦人科）（性病科）
黴毒科 專門
平市字鍛冶町
白土醫院
電二七九
（入院隨意）

看護婦及見習看護婦募集

時局ノ生ンダ新案特許
日ノ丸習字板（第一八〇五七八號）
使用法半紙節約ノ目的ニテ墨テ書キテ布雜巾ニテ拭ヘテ幾バ何回ニテモ使用出來マス
實用新案
メモ板 第一七七九〇四號
野球用ボール 第一七九七三號
興亞ノート 第二四七九八號
專賣特許
興亞厚紙（第(イ)一七三三六號）（第(ロ)一七三三六號）
平市月見町十三
合資會社 興亞特許商事
同 月見町三十三 工場

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時 院長醫學士 [illegible]

登錄商標
家傳良藥 ムテキ（ゆでくすり）
一袋三十錢 二袋五十錢 五袋一圓
切開洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、あかぎれ、ひゞ、しもやけ、りんびやう、ばいどく、やけど、たむし、くさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡ゆる膿を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さい
製劑本舗 宮城縣 ムテキ商會
平市古鍛冶町十番地
代理店 阿康藥局
電話四十四番 振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と寫眞機材料店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

產婦人科
井坂醫院
見習看護婦入用
平市[illegible]

スッポン
肺・肋膜・心臟・胃腸の弱い方に
血となり肉ともなる……
本場 生スッポン 生血・生膽の御用
勸め致します
生スッポン 特約養殖場
平市六丁目通り
さかいや商店
平市[illegible]町一番地
スッポン粉末もあります

建築木材ノ御用命ハ
杉、松、桧、栂、上板、ベニヤ板、建具材、木羽、建築用材一式
製材工場（大作場五） 磐越東線赤井驛前 電話二三五番
織田材木商店
電話平四六〇番

國はニッポン 魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣 平製氷會社
タヒ 甘鯛
エビ
マグロ
白魚
ヒノマル凍魚
[illegible]

メガネ専門の店
メガネは一番信用ある當店に御相談下さい…………
平市本町二丁目 玉屋

新刊書籍
月刊雜誌
各種圖書販賣
英堂 村山書店
平市中央驛前

平市南町 電一〇七
松村醫院
內臓外科
整形外科
胃腸
性病
內臓外科・腦脊髓病科
整形外科・レントゲン・理學療法科
內科・胃腸病科・肛門病科
花柳病科・皮膚病科・泌尿器病科
醫學博士 松村亨
醫學士 松村鐵郎

磐城銘菓
みやま羊羹
峰羊かん
名產梨かん
磐城耶馬溪
閼伽井嶽
製造販賣元 小野屋賣店

男女 車掌募集 數名
年齡16……19
未經驗者モ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四・三〇三

少年戰士▽引張り凧△
平職紹の割當二千名
郡市の卒業兒童四、〇四二名

明春學窓を巣立つ小學兒童の就職問題は、農業、鑛業、商業等何れの部門を問はず人的要素に極端な缺乏を招き困憊を來してゐる折柄だけに、新体制の少年戰士は早くも引張り凧の有樣である

平職業紹介所管內石城、平の一市三十二ケ村を通じ明春卒業する小學高等科卒業生は

男兒　二、〇九六
女兒　一、九五六
計　四、〇四二

ありこの內から平職紹を介して各校毎に就職希望數を取つた處（九月末現在）

男兒　一、一一二
女兒　三八〇
計　一、四九二名

あり其の職希望職業を調査の結果更に相當數の就職希望加を見てゐる、然し平職紹に對する求人の割當數は

男兒　一、三〇〇
女兒　七〇〇
計　二、〇〇〇名

で充員までには相當の開きがある爲卒業期までに一層馬力をかけて就職の斡旋に努める筈である、尋常科卒業生も郡市を通じて五千名位に達する見込みであるが大半は中等校や高等科に進級し殘るもの四五百名と見られ、これ等の就職希望者も近く取纏めた上希望の職業と照し合せて善處すべく紹介所は大童と成つて對策に腐心してゐる

重要産業は二位 農業は優先的
立澤平職紹所長談

求人の申込み中嚴重に査定し不急な者を除外して尙二千名の求人を平職紹に割當てられてゐる、管內の卒業生四千名（高等科）の內現在までの就職希望は千五百名を超す程度だが卒業期が迫ると豫定の二千名には漕ぎつけるつもりである、少年紹介の基本的順位は管內に最も重點を置き次ぎが縣內、縣外と範圍を漸次擴めることに成るがこの內でも農業に就く者は優先的に認め地方農村の勞力不足の緩和を圖りそれ以外は遊ぶ者の無いやう極力就職させる方針である、前に述べた通り地方の重要産業を第一位に就職せしむる考へであるが子供の眞理は多く他縣へ出たがるのには弱つてゐる、この罪は地方の求人者にも大いに原因して居り待遇問題など地元の求人者が相當研究する必要があると思ふ

中等校の希望者は大半就職決定

平市內の中等學校卒業生中既に就職を希望してゐるものは男子百七十名、女子八十名（縣公私を含む）計二百五十名で上級學校志望者中試驗の結果に依つて相當增加するものと見られてゐる

尙現在希望者中稅務署、營林署、郵便局、鐵道並に事業會社、炭礦等に大半が內定し縣外軍需工場、縣外等に雄飛する者も相當數に上つてゐる

求人に警告
制限令を適用

春に卒業する少年を勝手に雇ふと「青少年雇入制限令」で罰を受けることがあるから一般求人者は相當注意を要し、左の點について紹介所では警告することに成つた

昭和十二年十二月三十一日現在使用雇人の七割以上使用せんとする場合縣知事及管轄紹介所長の許可を受けること

年賀狀は兵隊さんへ
一般特別扱は停止

物資の節約と事務の繁雜を避ける爲遞信省は恒例の年賀郵便特別取扱ひを停止することに成つたが出征兵を慰問する爲戰地の兵隊さんへ送る年賀狀は從來通り特別扱ひするから『戰地へは努めて年賀狀を送るやうに』と希望してゐる

年賀電報も當分停止することに成つた

百二十億運動で
窓口事務延長

平郵便局では五日から行なはれてゐる百二十億圓貯蓄强調週間中、十四日まで貯金、保險、年金等の受け入れ事務を一時間延長取扱ひする

五大坑長に蓮沼氏參加
石炭需給策を決める

燃料の最需要期に入り、本年度の縣內石炭需給の根本方針を決定する「石炭需給調査委員會」は明七日午前十時から縣會議室に開かれるが、同委員會は知事を會長に磐城、入山、古河、大日本、日曹の常磐五大炭礦坑務所長と縣內有力石炭販賣店主五名、一般民間側からは石炭關係に造詣の深い蓮沼縣議が一名だけ加つて形成されて居り常磐炭礦が調査會を背負つてゐるので縣內本冬の石炭需給案は圓滑に決定するものと見られてゐる

翼贊會の實情調査隊來平
常磐炭と經濟、產業調査

大政翼贊會議會局衆議員關係調查部の北方經濟產業實情調查の爲杉山元治郎、仲井間次郎、稻田直道三氏外調査團の一行は十一日午後八時三十七分着列車で來平、住吉屋本店一泊 翌十二日午前十時から磐城炭礦で常磐石炭生產狀況を調査、同日午後一時から市公會堂で市會代表及市各業者代表と懇談會を開くことに成つた 一行の調査するものは概略次の如し

石炭、木炭、林產、水產、畜產等生產力擴充關係、物資と資材關係配給狀況、金融、轉失業問題其の他

平市では調者隊を迎へて資料の提供や懇談會出席要請狀を發するなど準備に忙殺されてゐる

十一日小名濱海岸で
保護馬査閱

小名濱町の軍用保護馬聯合査閱は十一日午前八時から同町定西海岸に馬政局長官臨席の下に實施する

江名警防團査閱

江名町警防團の查閱は八日小學校々庭に平署長臨席の下に開く

內郷村議補選
當選者即日決定

石城郡內郷村の村議六名の補欠選擧は既報の如く五日執行された有權者現在數四千八百五十四名に對し投票三千五百二十六票で二割七分强の棄權率で無效は百七十八票であつた當選者左の如し

七〇七　志賀保治（磐炭）
五三五　礎貝僧夫
五二六　武藤義造（磐炭）
四〇〇　庄司平三郎（入山）
三六四　四倉清一
三四二　草野輝吉
次點　二八七　竹島廉平
仝　一五八　大串半藏

となりぐみを語る (4)
戰時を偲び「炭火無し」
新田町隣り組（防空第十、十一群）（二）

あの街この丁

第[illegible]回常會

九月二十三日午後五時半第一回會場と同じ花柳氏宅に開催新体制の趣旨並に强化に就き協議、十月一日國勢調査申告記載方を內藏、石坂兩調査員より出席二十九名に懇篤にお敎くを戴きました、

一、常會開催日決定 七日與亞奉公日の一日か、七日の事變記念日か、それ〲話合の結果毎月一日と決定致しました、會場は各戶廻りとし當日支障ある家は隨時變更も可、お茶丈にして、必ず菓子や其他の接待嚴禁、そろ〲寒さに向ふ時に手炙木炭等はどうするかなぞの質問もあり結局局柄戰地の兵隊さんを思ひ忍んで炭なしで常會の趣旨を計る事になりました、

一、冠婚葬祭の事 これは相當議論もあつたが悔金は五十錢とし悔返しをせぬ事、花輪供物等一切廢止、但し親族主從關係は特外、手傳ひ人の制限、飲食の賄は絕對受けぬ事になりました、

第二回常會

防空訓練も間近い爲め期日を繰上げ九月二十九日午後五時半より花柳氏方に開催、

一、第三次防空訓練に關する事 十月一日より五日間に涉る訓練は油脂燒夷彈や飛行機に依る現示其他防空に關する訓練等の注意を淸野群長より話がありました、其他種々申合せもありましたが省略致します、出席二十五名、

第四回常會

十月十六日午後一時より野崎氏宅に開催、申合せや實踐事項を左の通り行ひました、

一、新体制とは何か、
一、銃後强化運動とは何か これは野崎滿藏氏常會班長の岩本氏より極くわかりよく話がありました、
一、常會報國貯金經過報告 現在高を報告し尙各自に預金通帳を見せました、
一、簡易保險團体加入の事 國策に副ひ過般常會員多數より加入を願ひましたので團体組織に加入方を奬めました處殆んど全部が加入致しました、
一、納稅組合加入奬勵 常會三十二軒で納稅組合に加入せぬ家が、四軒、他組合へ入つて居りますのが三軒、これは全部本年末に加入する事になりました、誠に納稅報國として嬉ばしい事です、

お願ひ

市內の常會で他に範とすべき申合せや活動狀況等、現に實行しつゝある事柄を詳細御寄稿願ひます、（となりぐみ係）

小名濱愛婦
廢品利用講習
十六日小學校に開く

小名濱愛婦分會では縣支部の後援を得て十六日小學校に正午から東京家政經濟技藝部指導員を招いて

スフ足袋の高い弱いを非難するより手縫ひで丈夫な足袋を作りませう、スフ製品の七八倍も强い足袋や運動靴が僅かの時間で有り布を利用し大小自由に簡單に縫へる最新の方法を三時間の講習で小學生にも出來る樣に責任を以つて實習教授の公開を致します、

と廢物利用の足袋手縫講習會を開いて各主婦に物資節約、消費節約を呼掛けるが銃後國策は先づ足元からと當日は盛會が豫想されてゐる

貨物の輸送制限
十日から三十一日まで

歲末の輸送貨物輻輳に備へ水戶運輸事務所では十四日から三十一日まで手小荷物、宅扱貨物等を制限することに決定したので平市農會では關係方面へ注意を促した

▲發送先、東京　橫濱　名古屋　京都　大阪　神戶行
▲制限貨物、木炭　米　砂糖　燐寸　林檎　蜜柑　甘藷　馬鈴薯　白菜　甘藍　玉葱　葱　大根　鮭　鱒（鹽物）

植田のボヤ
防空群の活動で消す

五日午後四時十分頃植田町本町植田醫院前佐藤文一方留守宅押入れから發火、附近の家庭防空群が驅けつけて活動大事に至らず消止めた原因は同家の子供達が炬燵にあたつて火のついた座蒲團をそのまゝ押入れへつめ込んで遊びに出た爲

指導船磐城丸
鮪漁場調査から歸る

近海の鮪漁場調査を兼ね海洋觀測に從事してゐた縣水產試驗場の指導船磐城丸は一ケ月振りで五日小名濱へ歸港したが同船はメカジキ三十尾、マカジキ七十尾、其の他大鮫類を滿載して去る二日氣仙沼へ入港し六千五百圓の水揚げして小名濱へ歸港したものである、同船の報告に依ると近海の鮪漁場は金華山沖合から銚子沖へかけて四、五百哩にあり豐漁の模樣だが本縣遠洋漁船は大半南洋方面へ進出し、現在近海の漁場にある船は第二東日本丸及幸平丸、盛厚丸の三隻である

大漁旗押し立て
揚繰船續々入港
鰯漁群近海に迫る

小名濱では鰯漁期が遲れてゐる爲加工業者を始め一般に手持無沙汰の形で「魚群よ來れ」と待望久しいが四日夕刻三代義勝氏の大勝丸を先頭に勝丸共德丸と相次いで大漁マネ（豐漁旗）を飜して小名濱へ入港

漁獲高は大勝丸二千六百杯、勝丸千三百五十杯、共德丸千二百杯で値段も先頃よりグツト落ちて高値三圓五十錢から安値三圓代を往來し鰮運搬の貨物自動車は久しぶりで夜を徹し期節景氣を見せた、目下宮城縣の沖合へ出漁中の本縣揚操網船は五十統を超へて居り、小名濱近くで大漁の情報を受け續々南下、近海は揚操船で活況を呈するのも此處四、五日と見られてゐる

伊藤上等兵

[illegible]倉百字新須賀町五助吉孫伊藤直太郎上等兵は十一月十六日中支戰線に於て戰病死した旨此程町役場に公電があつた

直太郎君は昨年十二月〇〇部隊に入營し本年出征、中支戰線に奮鬪した勇士である

『野茨』の同人
運動茶殼獻納

小名濱町の文藝同人雜誌『野茨』會員約卅名は軍用馬糧として茶殼を回收し物資愛護の意味で明年から實行に移すことを申合せ二、三ケ月中には更に各家庭のお台所へも進出して同運動の强化することも計畫中であると

小川女子青年の
銃後運動

石城郡小川村靑年團第七分團女子部では夏井川溪谷の紅葉期間中深勝容の接待におでん屋賣店を開設純益金十圓五十錢擧げこの內五圓を恤兵獻金し殘金は銃後の活動資金に充て出征家族の活動狀況をカメラに收め戰地へ發送銃後運動に努め村民から感謝されてゐる

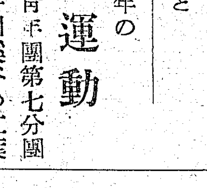
大浦の火事

大浦村字下仁井田大字道庭農鈴木久助（四七）方から今六日午前二時頃發火し住宅一軒馬小屋物置等を全燒して二時三十分鎭火幸ひ演習期間中だつた爲水が廻されてゐたので附近に延燒を免かれた、損害原因取調中

天氣豫報

今晚　南東の風後北の風　晴たり曇つたり
明日　南の風で同樣

二十八日
滿潮　前一〇、五三　後一〇、一〇
干潮　後四、四五　前[illegible]、〇〇



▲一白 活氣は十分あれど[illegible]に終らぬ樣に[illegible]▲二黑 出先き、故障の[illegible]勇氣づ[illegible]▲三碧 [illegible]に卷き込けれ[illegible]營々と勵[illegible]▲四綠 [illegible]の忙しくしく結果は却て面白からぬ[illegible]▲五黃 働きの[illegible]に見へぬとも氣な[illegible]こと勿[illegible]▲六白 [illegible]角な取りて何事にも圓滿な主とすべし▲七赤 順調に見へ[illegible]破れが生じ易し注意▲八白 上にのみ氣[illegible]疎かになる▲九紫 八方に目を配り障がいを除きつ、徐進すべし

小名青年隊
訓練旅行
內原道場を訪ねる

小野義一君を隊長とする小名濱青年隊員五十名は今六日午前七時茨城縣內原訓練所に一泊旅行の途に上つたが旅費十圓各自負擔で各所舊蹟を巡り併せてみそぎも行つて心身の鍛錬をすると

小名濱町の
出征兵送別會

小名濱町の出征兵送別會並に祈願祭は八日午後一時から諏訪神社で執行

平市慶弔錄

【出生】平市搔槌小路五村上清五男修君△東京市荏原區戶越町二八原籍平市禰宜町一眞柄秀雄四男良雄君△原籍平市四軒町十三東京市本鄕區本驛形二丁目九齊田良三長女佳子さん△平市大字大室松崎正直次女貞子さん

【婚姻】平市田町五番地渡邊長藏（二九）と双葉郡廣野町大字上北迫渡邊淸一長女ヨシ（二一）さん△平市五丁目十二三森ミヨさん（二七）と大浦村大森民野五二佐藤錢要司（三九）さん

肉の御用命は
三三三屋
牛も豚も優良品の自慢

社告

十三日創刊の本紙は、從來發行してゐた各新聞社の購讀並に廣告等繼承することになりました、購讀者並に廣告主各位に紙上より御諒承願ひます、尙本紙は近く四頁建十四段制に紙面を擴張實施すべく新機構の整備を急ぎつゝあり、當分の間暫定的に二頁の本紙を發行致します。

一、社屋新築
一、新式輪轉機設置
一、寫眞銅版設備
一、新鑄活字採用
一、四頁十四段制實施

磐城毎日新聞社

亡母ステ葬儀の砌は御鄭重なる御香奠を賜り且つ御多忙中態々御會葬被成下御厚志の段難有奉深謝候

一々拜趨御禮可申上筈の處乍畧儀以紙上御禮申上候　敬具

昭和十五年十二月六日
平市八幡小路六十番地
柴田德二
親戚一同

國民擧つて防火塗裝を!

▣危險に暴露する木造家屋
▣手輕るに出來る防火家屋
▣コロイド防火塗料の特長

1、太陽無機コロイド塗料は絕大の防火力を有します
2、本品の右に出る防火塗料は他にありません
3、粘着力非常に强く木材によく密着します
4、既設家屋に自由に施工が出來ます
5、刷毛にて簡單に施工が出來ます
6、價格が低廉で經濟的です
7、塗面が汚れた時は水洗ひすると直ぐ綺麗になります
8、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御證明下さいました

▣大量使用の御注文並に團体的御申込へは實驗の御希望に應じます

專賣特許 太陽無機コロイド販賣店
山田文一商店（平市仲町通り 電話二六二番）

カタログ進呈
證券、公債
兩替、金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

移轉お知らせ
弊店、今般三丁目中央通り（マルトモ食堂前）に移轉從前通り營業仕り候間倍舊のお引立ご御愛顧を御願申上候
平市三丁目中央通り（マルトモ食堂前）
岡萬年筆專門店